

2025 年 5 月 14 日

株式会社BookLive

**“マンガの多様な楽しみ方”から作品を讃える「第 4 回マガデミー賞」、
作品賞『正対な君と僕』のほか 全 6 部門の受賞作品を発表！**

TOPPANホールディングス株式会社のグループ会社である株式会社BookLive（本社：東京都港区・代表取締役社長：淡野 正）は、マンガの楽しみ方を広げるアワード「第 4 回マガデミー賞」の受賞作品を発表いたします。

特設サイト：<https://booklive.jp/magademy-award>

「第 4 回マガデミー賞」では、＜作品賞＞に『正対な君と僕』、＜設定賞＞に『ルリドラゴン』、＜感銘賞＞に『君と宇宙を歩くために』、＜こだわり賞＞に『カグラバチ』、＜表紙インパクト賞＞に『シバつき物件』が受賞しました。審査員が「この作品こそ推したい」と太鼓判を押す＜審査員特別賞＞は『8月31日のロングサマー』が受賞し、全 6 作品の受賞が決定いたしました。



「マガデミー賞」は、「マンガのキャラクターを讃える」をコンセプトに 2021 年から開催している、BookLive主催のマンガアワードです。第 4 回目の開催となる今年度はアワードを大幅にリニューアルしました。ただ面白いだけではない、マンガの持つ多様な個性と熱量を発信していきたいという思いから、従来のキャラクターを讃える賞を経て、「マンガの楽しみ方」を広げる賞を目指しています。

審査では、マンガに関する知識が豊富なプロ書店員 8 名が審査員となり、5 部門 25 作品のノミネートを決定。その後、特設サイトにて約 1 ヶ月間一般のマンガファンの方々に投票をいただき、受賞作品を決定いたしました。

本プレスリリースでは作者による受賞コメントと、一般投票からの評価コメントをご紹介します。

「マガデミー賞」がマンガの楽しみ方を広げる一助となり、マンガ業界がさらに盛り上がることを願っています。

第4回 マガデミー賞 MAGADEMY AWARD 受賞作品発表

<作品賞>『正反对な君と僕』

作画・ストーリー・表現・話題性など、多方面において総合的に「讚えたい」と思えるマンガ

■ 作品紹介

元気いっぱいだけど、つい周囲の目を気にしてしまう鈴木 みゆ（すずき みゆ）。そんな彼女が片思いしているのは、自分の意見をはっきり言える物静かな男子・谷 悠介（たに ゆうすけ）。しかし、好きだからこそ素直に接することができず、ついちよっかいをかけてしまう毎日…。ある日、思い切って「一緒に帰ろう」と誘ってみたら——!? 共感必至の等身大ラブコメ作品です。



©阿賀沢紅茶／集英社

■ 編集部受賞コメント

この度はマガデミー賞作品賞を頂きありがとうございます！
このような光栄な賞を頂けたのも、読者の皆さまの応援に支えられたからです。
『正反对な君と僕』は 2026 年 1 月にTVアニメ化が決定しました。
これからも盛り上げてまいりますので、どうぞよろしくお願いします！

■ 一般投票のコメント

・ポップな絵柄に反して、かなりリアルな心理描写が巧妙…。青春を思い出して胸がギュッとなりながらも元気で明るいキャラクターに笑顔になれる素晴らしい作品です。

・ただの恋愛漫画ではなく、高校生という多感な時期の繊細な感情や思考、人間関係が見事に描かれています。様々な人物の「正反对」な関係性も非常に見どころ。性別や年齢を問わず楽しめる素敵な作品です！

<設定賞>『ルリドラゴン』

物語設定やテーマがユニークで革新的なマンガ

■ 作品紹介

高校生の青木 ルリ（あおき るり）は、ある朝目覚めると突然、頭にツノが生えていた——!? 驚くルリでしたが、母から「実はお父さん、龍なのよ」とさらりと告げられ、遺伝のせいかもしれないと言われてますます困惑。とはいえ、学校は休めない…。不思議なツノに興味津々なクラスメイトたち、そして次々と明らかになる“ドラゴン体質”——!? いつもの日常にちょっとした異変。ドラゴンガール・ルリのスクールライフをゆるっと描いた作品です。



©真藤雅興／集英社

■編集部受賞コメント

マガデミー賞設定賞にご選出いただきありがとうございます。

「ルリドラゴン」は、ものすごく凝りに凝った複雑な設定、というわけではなく、ドラゴンの高校生、という比較的シンプルなアイデアの漫画だと思います。

その設定を活かし真藤先生が描く、ルリという主人公の高校生活、その表情豊かな細やかな筆致を含めて今回のご評価いただけたのだと感じました。

これからも精進し、彼女たちの日々をしっかりお届けしていけるよう尽力してまいります。

どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

■一般投票のコメント

・1話が始まった途端、今までになかった設定に驚き続きを読みたくなりました。ドラゴンとのハーフという設定でバトルものではなく、日常を描いているところが良いと思います。

・ドラゴンというあまりにも異端すぎる設定にもかかわらず、まるで何事もないかのように普通に高校生活を送っているところが面白い。また、普通の生活をしつつもドラゴンの力、特徴、それにより生じる人間関係への影響等が展開されていて読んでいて楽しい。

<感銘賞>『君と宇宙を歩くために』

心に響いた / 心が揺さぶられたマンガ

■作品紹介

勉強もバイトも長続きせず、どこか投げやりな日々を送るヤンキー・小林大和（こばやしやまと）。そんな彼のクラスに、変わり者の転校生・宇野啓介（うのけいすけ）がやってきます。ある日、小林が先輩から怪しいバイトに誘われていたところを、宇野に助けられ、それをきっかけに距離が縮まります。次第に小林は宇野の生き方に惹かれ、「自分も変わりたい」と一歩を踏み出しますが――。「普通」が苦手な二人。それぞれの壁にぶつかりながらも、自分らしく生きるために奮闘する、不器用だけどまっすぐな友情物語です。



©泥ノ田犬彦／講談社

■作者・泥ノ田犬彦先生 受賞コメント

この度はマガデミー賞 2025 感銘賞をいただき、誠にありがとうございます。

宇野と小林は、ごくごく平凡な学生として描いています。誰もがその辺ですれ違っていそうなキャラクターで、だからこそ主人公にしたいと思って登場させた2人でした。

10年後には忘れてしまうようなありきたりな日々の中に、それぞれの人生の大きな分岐点や、その瞬間本当に大事な喜怒哀楽が存在している気がします。こういう、描いておかないと無かったことになるものを、覚えているうちに描いておくべきなのかなと思っております。

今後もそんな2人の日常を描き続けられるように拙いながらも頑張っていきたいです。この度は素敵な賞をありがとうございました。

■一般投票のコメント

・生きてきた中で感じてきた、他人にはできて自分ができない、逆に自分ができて他人にできないことに対する心理が丁寧に描かれていて他者への思いやりを大切にせねばと考えさせられる作品です。

・主人公の考えや人と人とのやりとりが繊細に描かれていて、読む手が止まりません。ときには作中のキャラクターに感情移入しながら心揺さぶられています。

<こだわり賞>『カグラバチ』

作画や書き込み、作品づくりに作者の並々ならぬこだわりを感じるマンガ

■ 作品紹介

刀匠を志し、父のもとで修行に励む毎日を送る少年・六平 ちヒロ（ろくひら ちひろ）。おちゃらけた父と、寡黙な息子。賑やかで笑いの絶えない日々が、これからも続くと思っていたのに——突如として訪れた悲劇によって、そんな日常を無慈悲に奪われてしまいます。血塗られた絆、戻らぬ日々。燃え上がる憎しみを糧に、決意の炎を胸に宿して戦う剣戟バトルアクション作品です。



©外園健／集英社

■ 編集部受賞コメント

皆様の応援に支えられ、名誉ある賞をいただくことができました。
こだわりのある漫画といえばカグラバチ...面白い漫画といえばカグラバチ！そう思ってもらえるよう、最高の作品をお届けすべく頑張ってます！

■ 一般投票のコメント

・映画のワンシーンを切り取ったかのような、アクションの大胆な構図にこだわりました。毎話ごとにカッコいい決めコマが大きく描かれていて、思わずページをめくる手を止めてしまうほどのです。

・折々に洋画の雰囲気やその中の日本観を練りこんで笑いを誘いながら、登場人物にはそれぞれの思いをしっかりと抱かせ、至極真剣に描かれる復讐譚。オノマトペをコマの枠として利用したり、かなりアクロバティックな視点を出したりと、作画への拘りが素晴らしいです。

<表紙インパクト賞>『シバつき物件』

表紙から醸し出される独自の世界観に惹きつけられてしまうマンガ（第1巻対象）

■ 作品紹介

転校を機に部屋探しをしていた高校生・百瀬 氷（ももせ こおり）。そんな彼女が見つけたのは、1LDK・家賃4,800円という破格の物件でした。ですが、その安さにはある理由が。なんとその部屋には柴犬の地縛霊・むうちゃんが住み着いていて——不器用で感情表現が苦手な氷と、幽霊だけど愛嬌たっぷりのむうちゃん。孤独だった1人と1匹の、不思議でにぎやかな共同生活が始まる。笑って、癒されて、じんわり心が温まる。尊さ溢れる“わちゃもふ”な共同生活を描いたコメディ作品です。



©大森えす／集英社

■ 作者・大森えす先生 受賞コメント

このたびは「表紙インパクト賞」にご選出いただき、誠にありがとうございます。
投票してくださった皆さま、そして素敵な装丁にしてくださったデザイナーさんをはじめ、関係者の皆さまに心より感謝申し上げます！
“一度目が合ったら、「むうちゃん」が忘れられなくなるようにしたい！”
そんな思いを込めて作画したので、この賞をいただけて本当に嬉しいです。
むうちゃんだけでなく、この作品には本当にたくさんの個性豊かな柴犬の地縛霊たちが登場します。ぜひ、似ているようで全然違う柴犬たちの中から、皆様の推し柴犬＝推シバ（おしば）を見つけてもらえたら嬉しいです！
これからより一層、「この犬をお家に連れて帰りたいな」と思ってもらえるような、そんな犬たちを描けるよう、努力を続けていきたいと思います。
本当にありがとうございました！

■一般投票のコメント

・ありそうでなかった、柴犬（地縛霊）との暮らし。動物ものは読み尽くした、と思っている人にもぜひ読んでもらいたいハートフルシバ漫画！

・ほのぼの！なのに時に寂しく、時にあったまるお話です！普段は本を買ったらすぐにブックカバーをするのですが、むうちゃんなどの犬が可愛くてそのまま飾っています！

<審査員特別賞>『8月31日のロングサマー』

審査員が「この作品こそ推したい」と太鼓判を押すマンガ

■作品紹介

何度繰り返しても終わらない8月31日——。その不思議な時間の中で出会った高校生、鈴木 鷹也（すずき たかや）と高木 佳夏（たかぎ かな）。このループの中で、記憶を引き継げるのは二人だけ。原因として考えられるのは、鈴木が夏休みに残した“男子最大の目標”……。果たして彼は、この終わらない夏を抜け出せるのでしょうか？恋と真正面から向き合う、青春タイムループコメディ作品です。



©伊藤一角／講談社

■作者・伊藤一角先生 受賞コメント

この度は身に余る賞を頂き、大変光栄に思っております。自分とはとにかく鈴木さんと高木さんが好きで、恋愛という機会を通じて二人が人間として成長する姿を見たいと思って描いているので、それを評価していただけたのかなと喜んでます。

■審査員のコメント

- ・「8月31日」という夏休み最終日の楽しさ・寂しさを繰り返すタイムループもの。より多くの人に読んで欲しい。
- ・「8月31日」が終わらず、登場人物も変わらない。なのにこれほどまでにおもしろいのは、ループを繰り返すたびに主人公たちの成長や変化する関係性を感じられるからだろう。まずは1巻読んでほしい、と強く勧めたくなる作品です。
- ・ループものはシリアスな展開に寄りがちですが、この作品は、笑えてキュンとして、なんだかずっとこのふたりを見ていたくなる不思議な読み心地です。

■「第4回マガデミー賞」概要

【名称】第4回マガデミー賞（英字表記：4th MAGADEMY AWARD）

【マガデミー賞 新コンセプト】

マンガの楽しみ方は、無限大。

「いいマンガ」「面白いマンガ」それだけでは括れない。

奇抜な設定、優美な作画、こだわりの表現。

様々な個性と熱量を持ったマンガがこの世界にはたくさんある。

そんな「多様な楽しみ方」から作品たちを讃えたい。

「マガデミー賞」はキャラクターを讃える賞を経て、マンガの楽しみ方を広げる賞へ。

【対象作品】2024年1月1日(月)～12月31日(火)までに紙および電子単行本が発売された、もしくは発売予定があったマンガ作品のうち、最大巻数が10巻までの作品

【特設サイト】<https://booklive.jp/magademy-award>

【主催】株式会社BookLive

【協賛】三省堂書店、TSUTAYA、honto電子書籍ストア、丸善ジュンク堂書店

【審査員（敬称略）】

書店員すず木（ブックライブ 書店員） | 書店員スギノ（ブックライブ 出版社営業担当 書店員） | 近西 良昌（三省堂書店 コミック・雑誌・語学学参担当 書店員） | 足立 菜摘（三省堂書店 コミック売場担当 書店員） | 児玉 佳菜子（TSUTAYA 本部コミック担当 書店員） | 荻野 晶（honto 電子書籍ストア コミックジャンル担当 書店員） | 鈴木 志歩（honto 電子書籍ストア コミックジャンル担当 書店員） | 小磯 洋（丸善ジュンク堂書店 コミック仕入統括担当 書店員）
全 8 名 ※各審査員の所属情報・肩書は、2025 年 1 月時点のものとなります。

総合電子書籍ストア「ブックライブ」は、“いつも心に「マンガ部屋」を。”をコンセプトに、人生を豊かにする本との出会いと、心ゆくまで楽しむことができるサービスを今後も提供してまいります。

【総合電子書籍ストア「ブックライブ」について】

ブックライブは、2011 年よりサービスを開始し、豊富な品揃えで 100 万冊以上配信する国内最大級の総合電子書籍ストアです。マンガはもちろん、ライトノベルや、文芸、新書、ビジネス書、実用書、写真集まで、ワンストップであらゆる読書ニーズに応える品揃えと、読書アプリの提供による読みやすさの追求を行っています。また、たくさん読んでもお財布にやさしいお得なサービスが充実。読者の利便性を最優先に、いつでも、どこでも簡単に楽しめるサービスを提供しています。

- 総合電子書籍ストア「ブックライブ」 <https://booklive.jp/>
- 公式 X（旧 Twitter） https://twitter.com/BookLive_PR

【株式会社 BookLive について】

BookLive は「新しい価値を創造することで、楽しいをかたちにする」を企業理念に、電子書籍ストアやマンガアプリ等の運営を通じて、読者の心を豊かにするコンテンツの提供や IP の創出を行っています。またテクノロジーが進化するなかで、クリエイターやコンテンツの価値向上を目指すと共に、新たなビジョンとして「グローバル・デジタル・エンターテインメントカンパニーへの飛躍」を掲げています。

当社は今後も BookLive グループの強みを活かし、様々な企業と連携することで、より良質なコンテンツを生み出し続けるエコシステムを構築していきます。

URL : <https://www.booklive.co.jp/>

本文中に記載されている会社名、サービス名及び製品名等は各社の登録商標または商標です。